

## 学生の主体性と問題解決力を育成する アクティブラーニング授業メソッド体験ワークショップ

アクティブラーニングやPBL授業に対して、このようなお悩みや課題をお持ちではありませんか。

- アクティブラーニング型授業の設計、運営に、毎年苦勞する。
- 学生個人にリーダーシップを発揮して取組んでほしいが、「リーダー学生とフォロワー学生が固定化する」「やる気のある学生と無い学生が分かれてしまう」。何か良い工夫が無いだろうか。
- 外部団体とのPBLをより良い学びの場にするために、学生の協働力や取組み姿勢などをもう少し事前に開発しておけると良いのだが、何かできないだろうか。

ケースメソッドPBLの授業体験を通じて、より良い授業運営メソッドを研究いたしましょう！

**日程** 2023年12月1日（金） 15:00～18:00

**会場** リアセック セミナールーム ※JR「浜松町」・都営大江戸線「大門」より徒歩5分程度

東京都港区浜松町1-2-11 浜松町鈴木ビル5F

**参加費** 無料 ※事前予約制

**申込方法** 下記ご案内ページ、または右のQRコードからお申込み下さい  
<http://www.riasec.co.jp/takunaru>



**定員** 30名（教員および学生）

※学生の反応や受講感も重要なヒントになります。是非、貴学生と一緒にご参加下さい。  
※会場の都合上、1校3名までとさせていただきます。ご了承ください。

### 当日プログラム内容

- プログラム体験（学生の立場となり、実際の授業の「ケースワーク」を体験し、内容や効果を体感）
- メソッド研究・解説（体験に隠された、学生の主体性や能力が高まっていく仕組み・メソッドを検討）

### 今回活用するケースメソッドPBL教材「タクナル」について



「タクナル」学生向けテキスト

『議論を通じて問題解決力を高めるPBL』として、リアセック社のジェネリックスキル研究、PBLプログラム開発の実践研究から生み出されたプログラムを題材にします。

#### 特徴：経験学習を促進する「デザインされた授業プログラム」

学生ひとりひとりの主体性とジェネリックスキルを伸ばさせる構造化したプログラム

- ①ケースメソッドPBL（15回授業に対応）
- ②議論を活発にする進行メソッド
- ③学生の主体的な、ふりかえりによる学習が促進される授業構成